

平成 31 年度認証評価 ALO 対象説明会

事前質問への回答

Q.1	<p>7 月に依頼のあった「卒業生調査実施状況に関するアンケート」では、第 3 サイクルでは、ステークホルダー調査による意見聴取を踏まえた分析等が学習成果の評価・改善における根拠資料としてより重要視されていると記載されており、また今後の認証評価への活用のために卒業生調査ツールの開発をすすめていくとありますが、今後評価基準等どのような方向性・位置づけになるのかご教示ください。</p>
A.1	<p>第 2 評価期間に引き続き、第 3 評価期間においても区分「基準Ⅱ-A-8 学生の卒業後評価への取り組みを行っている」において、卒業生の進路先の人事担当者等からの評価を聴取しているか、聴取した結果を学習成果の点検に活用しているか、を評価の観点としています。学生が獲得した学習成果を、量的・質的データとして測定し、卒業認定・学位授与の方針を満たすものであることを証明することで教育の質保証を図っていくものであり、この査定には卒業生の進路先における評価の聴取などの卒業後評価への取り組みも含まれるものとしています。</p> <p>さらに区分「基準Ⅰ-C-1 自己点検評価活動等の実施体制を確立し、内部質保証に取り組んでいる」及び区分「基準Ⅱ-A-5 入学者受入れの方針を明確に示している」においても、新たにステークホルダーからの意見聴取等を観点としたところです。</p> <p>なお、意見聴取を行うだけでなく、その結果に関する分析・評価等を通して学習成果の改善を図っていく組織的な取り組みが必要と考えています。</p>
Q.2	<p>第 3 評価期間の自己点検評価報告書の様式から、各基準ごとに「基準〇の改善状況・改善計画」として「前回の認証（第三者）評価を受けた際に自己点検・評価報告書に記述した改善計画の実施状況」を記述するようになっていますが、この記述の仕方についてご教示ください。前回（7 年前）の報告書に、各基準のテーマごとに記述した改善計画を全て書き出したうえでその実施状況を記載するのでしょうか。それとも学校の判断で抜粋してよいのでしょうか。または、抜き出すことなく改善計画に対する実施状況のみを書いていってもよいのでしょうか。</p>
A.2	<p>自己点検・評価報告書の各基準（様式 5～8）の「基準〇の改善状況・改善計画」 「(a) 前回の認証（第三者）評価を受けた際に自己点検・評価報告書に記述した行動計画の実施状況」には、前回提出した自己点検・評価報告書の各基準の行動計画に記述したものについて、その要約とその実施（改善）状況を記述してください。</p> <p>また、評価校において計画・実行・検証・改善という PDCA サイクルが機能しているか、内部質保証に取り組んでいるかという観点から評価を行いますので、それぞれの取り組みが明確になるよう記述してください。</p>

Q.3	<p>① 学生に対するインタビューの場所は、評価校が選定するのでしょうか。また、本学は、看護学科が受審しますが、専攻科の学生も選定は必要ですか。</p> <p>② 面接調査時の進行（司会）は、評価校側が行うのですか。</p>
A.3	<p>① 学生に対するインタビューの場所及び出席する学生につきましては評価校が選定し、学年、学科・専攻課程名を記した参加者一覧（無記名）をチーム責任者に通知してください。専攻科の学生は選定しなくて結構です。</p> <p>また、インタビュー当日は、出席する学生の氏名、学年、所属学科・専攻課程名を記載した席次表を評価チームに配布し、インタビュー終了後、席次表を回収してください。</p> <p>② インタビューの進行等は評価チームが行いますので、評価校の教職員の同席はご遠慮ください。</p>
Q.4	<p>書式1～4「計算書類等の概要（過去3年間）」について</p> <p>書式1の科目について（何）の行は該当がなければ削除、又は当該学校法人の決算書類に合わせ細かく科目を入れたほうがよろしいでしょうか。</p>
A.4	<p>「計算書類等の概要（過去3年間）」の書式1（活動区分資金収支計算書）に記載している「（何）」の行については、該当する金額がない場合でも行の削除をしないで、0（ゼロ）の数字を記入してください。</p> <p>また、該当する科目がある場合は、「（何）引当特定資産」の（何）の部分に当該学校法人の使用している具体的な引当特定資産の名称を入れてください。（例えば「減価償却資産買替引当特定資産取崩収入」、「減価償却資産買替引当特定資産繰入支出」等）</p> <p>特定資産の取り崩し又は繰り入れが多数ある場合は、「その他の引当特定資産～」として合計金額で表示してください。</p>
Q.5	<p>基礎データ 様式15について</p> <p>学科・専攻課程ごとに作成するという解釈でよろしいでしょうか。</p>
A.5	<p>「教育課程に対応した授業科目担当者一覧」（様式15）は、平成30年度に開設した授業科目を学科・専攻課程ごとに作成してください。</p> <p>なお、全学共通の科目群についてはタイトルを「全学共通」とし、また複数学科共通の科目群がある場合には、タイトルを「〇〇学科・〇〇学科共通科目」等とし、いずれも単独の表を作成してください。</p>
Q.6	<p>「記述の根拠となる資料等」について、お教えてください。</p> <p>① 基準Ⅱ「単位認定状況表〔様式18〕」</p> <p>「認証評価を受ける前年度の平成29年度に卒業した学生が入学時から卒業までに履修した科目について」（備付資料）は、各学生が履修した科目を示す資料のみを提出すればよろしいのでしょうか。単位認定、評価についても必要でしょうか。</p> <p>② 「幅広く深い教養を培う教養教育の成果に関する資料」（備付資料）については、どのような資料を準備したらよいのでしょうか、具体例などをお教えてください。</p>

<p>A. 6</p>	<p>① 「単位認定状況表 [様式 18] は、個々の学生の科目履修状況を示す個別の資料ではなく、1つの学年が入学時から卒業までに履修した科目全体の履修状況を確認するための一覧表で、<u>表は学科・専攻課程ごとに作成します。</u></p> <p>平成 31 年度認証評価では、<u>平成 30 年度に卒業した学生</u>が入学時から卒業までに履修した科目について、①授業科目名、②授業形態 [講義、演習、実習等]、③成績評価の方法、④最終評価 [優・良・可・不可等] (%)、⑥評価基準の項目に従って表を作成してください。</p> <p>② 自己点検・評価報告書には区分「基準Ⅱ-A-3」の観点 (1) ~ (3) についての現状を記述することになっており、その記述の根拠となる資料を求めるものです。</p> <p>各短期大学において、教養教育の在り方が異なるかと思いますが、例えば、教養教育に関する学習成果について「教育課程レベル」、「科目レベル」での獲得状況を定期的 (授業回、学期、学年進行) に査定し、課題発見、改善という PDCA サイクルを実践している場合には、その中で活用している量的・質的データ等を資料として準備してください。(本協会ウェブサイト「よくある質問 (FAQ)」の Q.4 参照)</p>
<p>Q. 7</p>	<p>① 観点 I -C-2- (1) 「学習成果を焦点とする査定の手法を有している」の「査定の手法」とは具体的にどのようなものですか。</p> <p>② 内部質保証ルーブリックにおける項目 4 のレベル I の文中の「…教育の質保証を図る査定の仕組み…」の「査定の仕組み」とは具体的にどのようなものですか。</p> <p>③ 「査定の手法」と「査定の仕組み」は同じ意味でしょうか。</p>
<p>A. 7</p>	<p>手法とは事を行ったりする際のやり方であり、仕組みとは物事の組み立てられ方又は構造を言います (広辞苑より)。評価の観点から、どのような仕組みの中で、それぞれがどのような手法により、何を収集・分析し、評価し、どのように改善に繋がっているか、また、その成果等を確認する必要があると考えますが、焦点の置き方が異なるものと理解しています。</p> <p>学習成果の査定のサイクルモデルとして、①機関レベル/教育課程レベル/科目レベルなどで学生が身に付けて欲しいものを設定する、②教育の実施及び学習の評価、③学生がそれを身に付けたかどうか、データを収集し分析する、④その結果を査定し、次の行動計画を策定する。必要に応じて、改善点を検討し修正を加える、という向上・充実のための査定サイクルを実践している中で、例えば、学生個人に対してはテスト、レポート、観察記録などにより、また、組織的には学生を対象にした調査、卒業生を対象にした調査、雇用者を対象にした調査、外部評価などにより点検・評価を行うなどがあげられます。</p> <p>また、内部質保証ルーブリックにおける項目 4 のレベル I の文中の「…教育の質保証を図る査定の仕組みが機能している」の「査定の仕組み」とは、教育の質保証を図るための体系や組織をいいます。例えば、幹部職員で組織する全学的な自己点検・評価委員会で、学科単位で組織する委員会等での自己点検・評価結果を検討し課題等があれば学科に対し改善を求める等、構成や役割等を含んだ組織の説明が主になるものと考えます。</p>

以上